

北部保健所(中津地区)の感染症情報

2025年 第10週 (3月3日~3月9日)

3月 

○感染性胃腸炎の患者が報告されています。(20.00人/定点医療機関あたり)

下痢嘔吐等の胃腸炎症状がある時は出来るだけ調理等に携わらないようにしましょう。血便などの胃腸炎症状があるときは早めに医療機関を受診しましょう。

- * 食肉は十分に加熱しましょう。
- * 食肉や生野菜を扱う時、食事の前、トイレの後は石けん等で手をよく洗いましょう。
- * 患者の嘔吐物等进行处理する場合は手袋・マスク等を着用しましょう。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者が報告されています。(3.33人/定点医療機関あたり)

潜伏期間は2~5日とされ、突然38度以上の発熱、全身倦怠感、喉の痛みなどが現れ、しばしば嘔吐を伴います。また、舌にイチゴのようなぶつぶつができる「イチゴ舌」の症状が現れます。まれに重症化し、全身に赤い発疹が広がる「猩紅熱」になることがあります。合併症として肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などを起こすことがありますので注意が必要です。初期症状は風邪に似ていますがウイルス性の風邪とは違い、抗生物質がよく効きますので、処方された薬はきちんと服用して除菌することが大切です。登園、登校については主治医の先生にご確認ください。

○インフルエンザB型の患者が報告されています。(1.20人/定点医療機関あたり)

- 突然の高熱と全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が起こり、これらの症状と同時かあるいは少し遅れてのどの痛みやせきなどの呼吸器症状が現れてくる病気です。
- 通常では発熱が2~3日持続したあと、1週間程度で回復します。時には重症になることもあります。

【予防】

- 手洗いやこまめなうがいをおこなってください。
- 十分な休養とバランスのとれた食事を心がけましょう。
- 乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って、適切な湿度(50~60%)を保つことも効果があります。

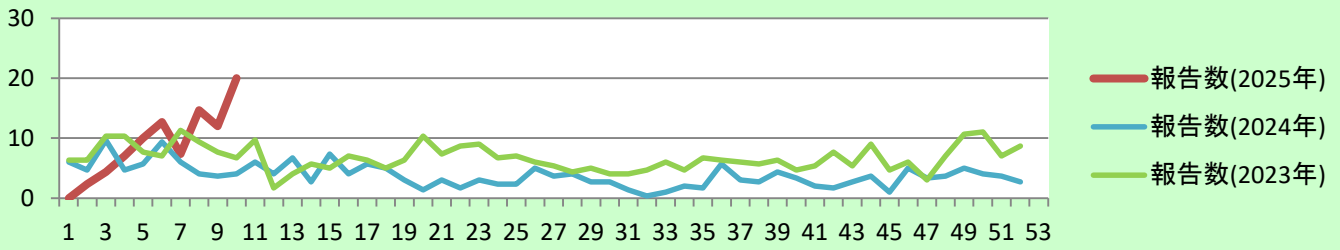


	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(水ぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	新型コロナウイルス感染症
	A型	B型	不明												
0歳				2.00			1.00								
1~3歳	0.20					0.33	3.67				0.33				
4~6歳						2.33	9.67						0.33		
7~9歳		0.60					3.00								
10~14歳	0.20	0.20				0.67	2.33								0.20
15~19歳							0.33								
20歳以上															
計	0.40	0.80		2.00		3.33	20.00				0.33		0.33		0.20
	1.20														
70歳以上(再掲)															
前週	0.40			1.33		2.33	12.00				0.67				2.60
	0.40														

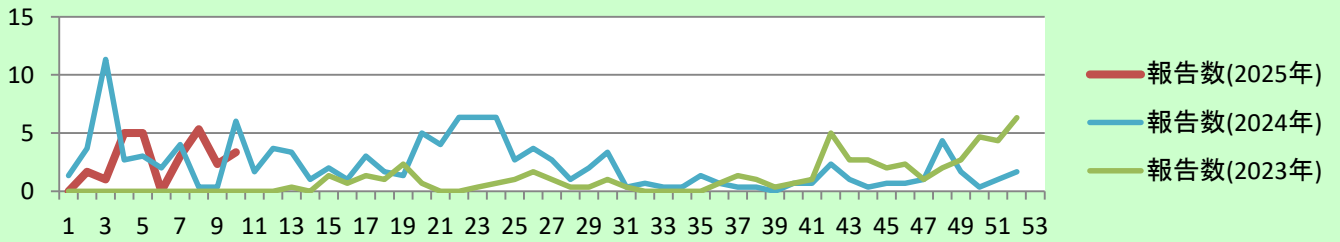
※指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上(定点医療機関 インフルエンザ定点5、小児科3)

※端数処理のため、合計と年齢ごとの数値は一致しないことがある。

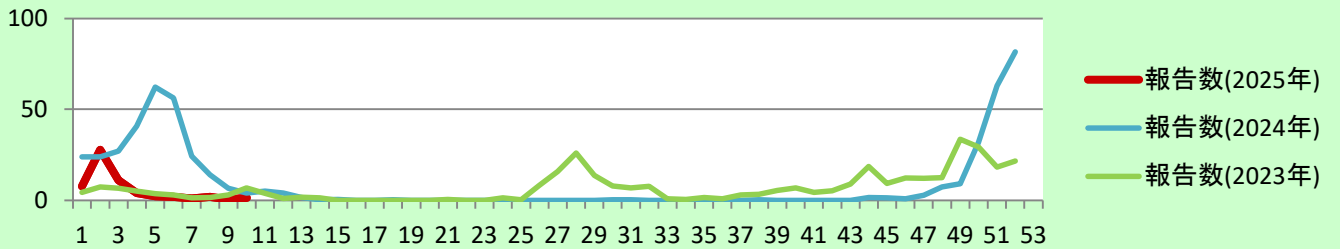
定点当たり報告数 感染性胃腸炎



定点当たり報告数 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



定点当たり報告数 インフルエンザ



疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

症状	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

・「警報」: 大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを指す。

・「注意報」: 流行の発生前だと、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを指し、流行の発生後だと流行が継続していることが疑われることを指す。

お問い合わせ 北部保健所 0979-22-2210

a12089@pref.oita.lg.jp